

証券コード：2686



第54期 中間報告書

2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日



The AEON logo, featuring the word 'AEON' in a stylized purple font.



■ 経営理念

足元からのスタイル提案業

健康的で履きやすい魅力的な靴をリーズナブルに提供すること。

私たちジーフットは、その経営理念に「足元からのスタイル提案業」というスローガンを掲げながら、フットウェアのリーディングカンパニーとしてこれからの時代を先取りするグローバルな展開をスタッフ全員で目指していきます。

■ 財務ハイライト

	2022/2 (中間期)	2022/2 (期末)	2023/2 (中間期)	2023/2 (期末)	2024/2 (中間期)	2024/2 (期末)	2025/2 (中間期)
売上高 (単位:百万円)	34,650	66,266	33,009	65,695	33,665	64,601	32,273
営業利益 (単位:百万円)	△2,906	△6,648	△1,988	△4,804	△490	△1,081	118
経常利益 (単位:百万円)	△2,952	△6,802	△2,088	△5,004	△615	△1,363	△44
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (単位:百万円)	△3,127	△7,142	△2,136	△5,523	△800	△1,768	△159
1株当たり 中間(当期)純利益 (単位:円)	△73.51	△167.87	△50.21	△129.81	△18.81	△41.55	△3.74
1株当たり 純資産額(BPS) (単位:円)	29.99	△64.25	△113.80	△191.67	△210.14	△229.29	△232.84
総資産 (単位:百万円)	42,046	43,318	37,659	40,250	35,122	32,643	32,464
純資産 (単位:百万円)	1,290	2,281	173	△3,152	△3,938	△4,757	△4,908

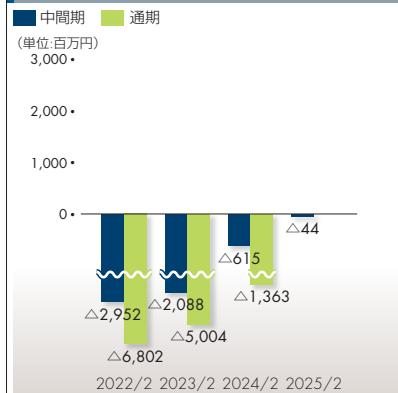
売上高



営業利益



経常利益





当中間連結会計期間（2024年3月1日～2024年8月31日）における我が国の経済は、訪日外国人観光客数の増加によるインバウンド需要の拡大を背景に緩やかな回復が期待される一方、日米金利差を背景とした円安進行及び物価上昇、人手不足の深刻化等による景気下押し圧力が懸念されます。

このような環境の下、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により毀損した自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるべく、4力年（2023年2月期～2026年2月期）の事業再生に取り組みであります。前連結会計年度では「成長戦略に向けた基礎固め」を経営方針に、不採算店舗整理が完了し、アスピーブランド統一（利益店舗へ経営資源を集中し、事業効率・販売効率の最大化を図る）は対象とする店舗のうち半数まで改装が進んだことから店舗収支基盤の基礎固めを進めることができました。

当連結会計年度からは「成長戦略へ舵」を経営方針に据え、2025年2月期重点取り組み（事業構造改革、MD構造改革、組織・コスト構造改革、EC事業の成長と拡大）を軸にした成長軌道復帰への取り組みを進めております。

そのような状況の中、当中間連結会計期間における売上高は、不採算店舗の整理により店舗数が前年同期から30店舗減

少したこと等もあり前年同期比は4.1%減少（売上高実績322億73百万円）となったものの、事業構造改革でお客様のストアロイヤリティ（信頼度、愛顧度）向上を目的に、地域のお客様さま情報や店舗特性に基づいた品揃え・販売サービス改革に取り組んできたアスピーブランド統一店舗の売上が好調（対象116店舗の売上前年同期比8.6%増）だったこと等により既存店前年同期比では4.3%増の実績となりました。なお、当中間連結会計期間末における当社グループの店舗数は、3店舗の出店と7店舗の退店を行ったことにより店舗数649店舗（当社単体では642店舗、当期期首差4店舗減）となりました。

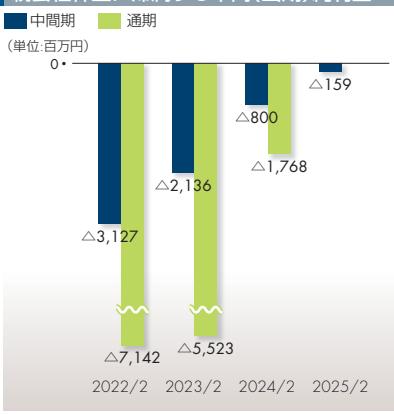
売上総利益高では、MD構造改革でこれまでの業態（店舗屋号）起点だった品揃えを、地域のお客様さま情報やトレンドに基づいたスポーツ&キッズシューズ中心の品揃えに変えたことや投入アイテム数の絞り込みと1アイテム当たりの発注数量を増加させたことによる正価販売率の改善で売上総利益率の増加（実績44.3%、前年同期から0.4ポイント増）を図ることができました。

組織・コスト構造改革では、店舗人員再配置による勤務シフトの見直しや業務デジタル化による定型業務の効率化（自動化・簡略化）、店舗賃料減額等による継続的なコスト削減と売上に応じたコスト最適化の取り組みにより、販売費及び一般管理費は前年同期から10億77百万円減少の141億86百万円（前年同期比7.1%減）の実績となりました。

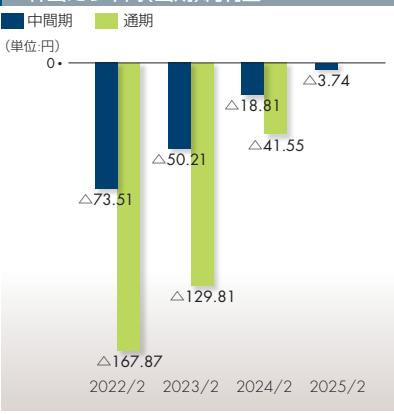
EC事業の成長と拡大では、お客さま利便性向上と店舗業務効率改善を軸にオンラインとオフラインの融合を進める為、その中核を担う自社アプリ（アスピーアプリ）のリニューアルを3月度に実施いたしました。当中間連結会計期間末においては、累計アプリ会員数は627千人となりました。また、販売機会ロス削減への取り組みとして、二次元バーコードの読み取りによるお客さまスマートフォンを介した商品在庫検索機能の導入も進めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績については、営業利益1億18百万円（前年同期は営業損失4億90百万円）、経常損失44百万円（前年同期は経常損失6億15百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は1億59百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失8億円）の実績となりました。

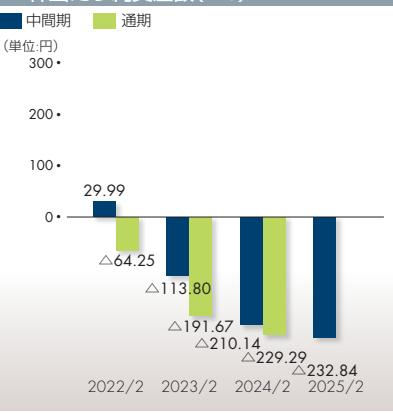
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



1株当たり中間(当期)純利益



1株当たり純資産額(BPS)



履き心地、デザイン、質の良い商品を手に取りやすい価格でお届けする当社のプライベートブランド。この秋より一部商品の生産工場を変更し、更にお客さまにお喜びいただける商品を生み出してまいります。また、キッズシューズ「MADFOOT!」ではお子さまにぬりえをしてお応募いただく「キッズドリームシューズぬりえコンテスト」を実施し、入賞したお子さまにはぬりえデザインのオリジナルシューズをプレゼントいたしました。



heal me

ちょうど良いが心地良い。歩きやすさ、履き心地にこだわりながら、デザインにも気を抜かない。ポジティブに現代を生きる女性を足元からサポートするシューズコレクション。



幅広設計、防水・耐水機能など充実の機能と履き心地を追求する「ATHREAM」。多様化するファッションに対応するデザイン、魅力的なプライス設定でハイパフォーマンスな商品を提案。



お子さまの健やかな成長を足元から支えるキッズシューズ「MADFOOT!」。抗菌インソールや防水機能、幅広設計など、それぞれのお子さまに必要な機能を備えた商品を多数ラインナップ。

■ 教育制度・多様な人材の活用

社内資格「フィッティングアドバイザー」



足や靴に関する知識と計測方法を学んだ「フィッティングアドバイザー」は現在約2,600名在籍しています。足型計測の結果に基づいてお客さまにピッタリな1足をご提案し、お手入れ方法等もアドバイスいたします。

従業員への教育機会



従業員への教育の一環として、毎月、商品部のバイヤーや、メーカーの方による商品説明会を実施しています。オンラインにて相互コミュニケーションを取りながら行う研修で商品知識を身に付けています。

多様な人材の活躍



満65歳に達し定年を迎えた社員・パート社員の希望者のうち基準を満たした方を「プライム社員」として再雇用しています。現在約90名のプライム社員が在籍し、その豊富な経験と見識を活かし活躍いただいております。

■ 新しい取り組みのご紹介

「ASBeeアプリ」について



24年3月、当社アプリは「G-FOOTアプリ」から「ASBeeアプリ」に生まれ変わりました。店頭やオンラインショップで利用できるクーポン配信だけでなく、WAON POINTがたまる、つかえる機能等でより便利になりました。

店舗のデジタル化



24年春より順次、商品につけるPOPを変更しております。POPに記載の二次元バーコードを読み込むと商品の機能や店舗在庫状況が分かり、店舗スタッフにとってもお客さまにとってもより便利になりました。

「育児ガイドブック」の作成



より働きやすい会社を目指し、これから育児休暇を取得する社員向けに「育児ガイドブック」を作成。便利な福利厚生や提出書類、復帰後の時短勤務制度の説明など、妊娠～育児中の社員をサポートする内容を掲載しています。

■ 中間連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第54期 2024年8月31日現在
資産の部	
流動資産	27,940
固定資産	4,524
有形固定資産	910
無形固定資産	408
投資その他の資産	3,205
資産合計	32,464
負債の部	
流動負債	35,839
固定負債	1,533
負債合計	37,373
純資産の部	
株主資本	△ 5,027
資本金	3,763
資本剰余金	8,593
利益剰余金	△ 17,379
自己株式	△ 4
その他の包括利益累計額	116
新株予約権	2
純資産合計	△ 4,908
負債純資産合計	32,464

■ 中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第54期 2024年3月1日から 2024年8月31日まで
売上高	32,273
売上原価	17,968
売上総利益	14,304
販売費及び一般管理費	14,186
営業利益	118
営業外収益	3
営業外費用	166
経常損失	△ 44
特別損失	0
税金等調整前中間純損失	△ 45
法人税等	113
中間純損失	△ 159
親会社株主に帰属する中間純損失	△ 159

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第54期 2024年3月1日から 2024年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 270
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 116
現金及び現金同等物の期首残高	583
現金及び現金同等物の中間期末残高	467

■ 会社概要

商号 株式会社ジーフット
 (英訳名 GFOOT CO.,LTD.)
設立 1971年10月
資本金 37億63百万円
従業員数 808名 (他、フレックス社員2,808名)
本社 東京都中央区新川一丁目14番1号
事業内容 紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売
店舗数 649店舗

■ 役員

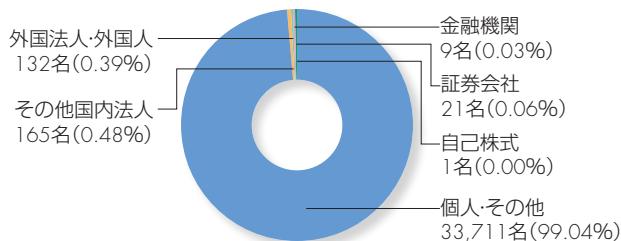
代表取締役	木	下	尚	久
取締役	熊	谷	直	義
取締役	三	浦	隆	司
取締役 (社外)	柴	田	昭	久
取締役 (社外)	川	内	由	加
常勤監査役 (社外)	笠	島	和	滋
監査役 (社外)	石	津		卓
監査役 (社外)	松	浦	由	子
監査役	福	田		真

■ 株式の状況

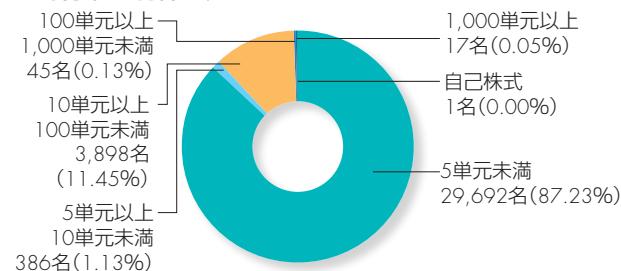
- 発行可能株式総数 144,000,000 株
- 発行済株式の総数 42,577,500 株
- 単元株式数 100 株
- 株主数 34,039 名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	26,350	61.9
有限会社高田	900	2.11
イオンフィナンシャルサービス株式会社	670	1.57

● 所有者別株主数



● 所有単元別株主数





■株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当金	2月末日 2月末日 8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問い合わせ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) https:// www.g-foot.co.jp/ja/announce.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場及び 名古屋証券取引所プレミア市場	
単元株式数	100株	

株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



イオンラウンジ会員証について

毎年2月末日の株主名簿に登録された1,000株以上所有の株主さまに対しイオンラウンジ会員証を贈呈。詳細はイオンラウンジホームページをご確認ください。

<https://www.aeon.com/aeonapp/service/lounge>

■イオンラウンジ会員証に関するお問い合わせ先
ジーフットIR担当 03-5566-8215
(受付時間：10時～16時 土日祝日は除く)

ホームページもご覧ください

<https://www.g-foot.co.jp/>



本社 東京都中央区新川一丁目14番1号

